

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL <https://owill.co.jp>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 伊達 一紀
 問合せ先責任者 （役職名） 専務取締役管理本部長 （氏名） 青柳 あゆみ TEL 03-5772-4488
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	11,395	6.6	663	11.1	619	7.8	424	10.6
2026年3月期第1四半期	10,693	13.9	597	56.6	574	62.5	383	65.0

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 470百万円（25.8％） 2026年3月期第1四半期 373百万円（28.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	47.03	—
2026年3月期第1四半期	42.70	—

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	20,042	6,366	30.9
2026年3月期	20,477	6,126	28.9

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 6,200百万円 2026年3月期 5,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	6.00	—	20.00	—
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	2.00	—	20.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の1株当たり期末配当金につきましては当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は「—」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の1株当たり期末配当金は60円、1株当たり年間配当金は66円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 42,600	％ 1.6	百万円 1,175	％ △14.2	百万円 1,083	％ △13.6	百万円 700	％ △11.8	円 銭 77.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規一社 （社名）－ 除外一社 （社名）－

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	9,450,000株	2026年3月期	9,450,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	429,987株	2026年3月期	429,987株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	9,020,013株	2026年3月期1Q	8,984,013株

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の継続的な改善や国内企業の設備投資の持ち直し等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、原材料・エネルギー価格の高止まりや中東情勢の緊迫化等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、原材料価格の高騰や人件費の上昇等に対応した商品の値上げの影響により、消費者の節約志向が強まる傾向が見られ、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力商材である農産物加工品の販売が堅調に推移したことに加え、製造販売事業において、魚卵及び生姜ガリの加工販売が堅調に推移したことにより当第1四半期連結累計期間の売上高は11,395,717千円（前期比6.6%増）となりました。人件費及び物流経費の増加により、販管費が増加したものの、売上高の増加に伴い売上総利益が増加したことにより、営業利益は663,573千円（前期比11.1%増）となりました。経常利益は619,373千円（前期比7.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は424,232千円（前期比10.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

卸売事業では主に、飲食料品向けの原材料と環境関連商材を取り扱っております。

飲食料品市場においては、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う飲食料品メーカー各社の商品値上げが浸透しつつありますが、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。

飲食料品向け原材料においては、野菜及び果物の濃縮汁の販売が前年同期比で増加した一方で、殺菌乳や糖類の販売は減少し、飲食料品向け原材料全体の売上高は微減となりました。環境関連商材においては、近年の猛暑やエネルギーコスト上昇による空調の効率化需要の高まりを受け、主に物流施設向けの大型シーリングファンの出荷数は堅調に推移しました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における卸売事業の売上高は9,455,575千円（前期比2.2%減）となりました。

<製造販売事業>

製造販売事業では、日本国内において株式会社海鮮が鮮凍魚介類及び魚卵類の加工販売を行っており、米国内において、NIITAKATA U.S.A INC. が漬物ガリ生姜の製造販売を行っております。

外食産業の好調な市場動向の影響を受け、魚卵製品およびエンガワといった寿司ネタ商材の販売が前年同期比で増加しました。また、米国内における安定的な日本食需要に支えられ漬物ガリ生姜の販売は堅調に推移しました。

前第1四半期連結累計期間ではNIITAKATA U.S.A INC. の業績が反映されていなかった影響もあり、当第1四半期連結累計期間における製造販売事業の売上高は1,940,593千円（前期比79.8%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ266,580千円減少し、18,220,090千円となりました。主な要因は、現金及び預金、商品及び製品の減少によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ168,546千円減少し、1,822,033千円となりました。主な要因は、投資その他の資産の減少によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ435,127千円減少の20,042,123千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ445,394千円減少し、10,749,432千円となりました。主な要因は、未払法人税等及び役員退職慰労引当金の減少によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ229,361千円減少し、2,926,435千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ674,755千円減少し、13,675,868千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ239,628千円増加し、6,366,255千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月11日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,542,393	2,355,474
受取手形	89,342	144,332
売掛金	7,288,436	7,395,237
商品及び製品	6,549,232	6,414,079
未着商品	836,571	867,954
原材料及び貯蔵品	574,206	610,643
未収入金	225,542	152,811
その他	422,429	319,686
貸倒引当金	△41,485	△40,129
流動資産合計	18,486,670	18,220,090
固定資産		
有形固定資産	338,999	361,890
無形固定資産		
のれん	191,393	182,892
顧客関連資産	520,495	522,438
その他	33,115	30,077
無形固定資産合計	745,005	735,408
投資その他の資産	906,575	724,734
固定資産合計	1,990,580	1,822,033
資産合計	20,477,251	20,042,123
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,471,394	5,604,785
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
短期借入金	2,279,422	3,048,244
1年内返済予定の長期借入金	1,413,141	1,432,977
未払金	259,785	242,223
未払法人税等	259,710	76,386
賞与引当金	73,007	37,890
役員退職慰労引当金	207,000	—
その他	161,365	236,926
流動負債合計	11,194,827	10,749,432
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	2,770,815	2,672,967
資産除去債務	3,047	3,047
退職給付に係る負債	28,098	28,734
その他	293,835	171,686
固定負債合計	3,155,796	2,926,435
負債合計	14,350,623	13,675,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	300,051	296,101
利益剰余金	5,106,463	5,350,295
自己株式	△181,772	△181,772
株主資本合計	5,588,130	5,828,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,004	100,601
繰延ヘッジ損益	21,360	19,999
為替換算調整勘定	212,265	252,332
その他の包括利益累計額合計	333,630	372,933
非支配株主持分	204,866	165,309
純資産合計	6,126,627	6,366,255
負債純資産合計	20,477,251	20,042,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,693,835	11,395,717
売上原価	9,336,979	9,815,847
売上総利益	1,356,855	1,579,869
販売費及び一般管理費	759,420	916,296
営業利益	597,435	663,573
営業外収益		
受取配当金	1,023	1,296
その他	1,556	1,877
営業外収益合計	2,580	3,173
営業外費用		
支払利息	14,578	26,180
為替差損	10,172	20,837
その他	790	355
営業外費用合計	25,541	47,373
経常利益	574,473	619,373
税金等調整前四半期純利益	574,473	619,373
法人税、住民税及び事業税	159,668	53,864
法人税等調整額	31,942	139,270
法人税等合計	191,611	193,134
四半期純利益	382,862	426,238
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△799	2,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	383,662	424,232

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	382,862	426,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,184	597
繰延ヘッジ損益	9,836	△1,361
為替換算調整勘定	△21,185	44,556
その他の包括利益合計	△9,164	43,792
四半期包括利益	373,698	470,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,286	463,535
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,587	6,495

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	9,669千円	14,715千円
のれんの償却額	2,122	11,909
顧客関連資産償却額	—	9,156

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,614,856	1,078,979	10,693,835	—	10,693,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,764	254	58,019	△58,019	—
計	9,672,620	1,079,234	10,751,854	△58,019	10,693,835
セグメント利益	474,082	147,010	621,092	△23,656	597,435

(注) 1. セグメント利益の調整額△23,656千円には、子会社株式の取得関連費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

製造販売事業セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間にNIITAKAYA U. S. A. INC. の株式を取得したことに伴い、のれんが186,458千円発生しております。

なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,455,129	1,940,588	11,395,717	—	11,395,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	446	5	451	△451	—
計	9,455,575	1,940,593	11,396,168	△451	11,395,717
セグメント利益	379,142	293,575	672,717	△9,144	663,573

(注) 1. セグメント利益の調整額△9,144千円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2025年4月1日に行われたNIITAKATA U.S.A INC. との企業結合について前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、顧客関連資産に523,355千円、繰延税金負債に156,169千円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は484,481千円から298,023千円減少し、186,458千円となっております。